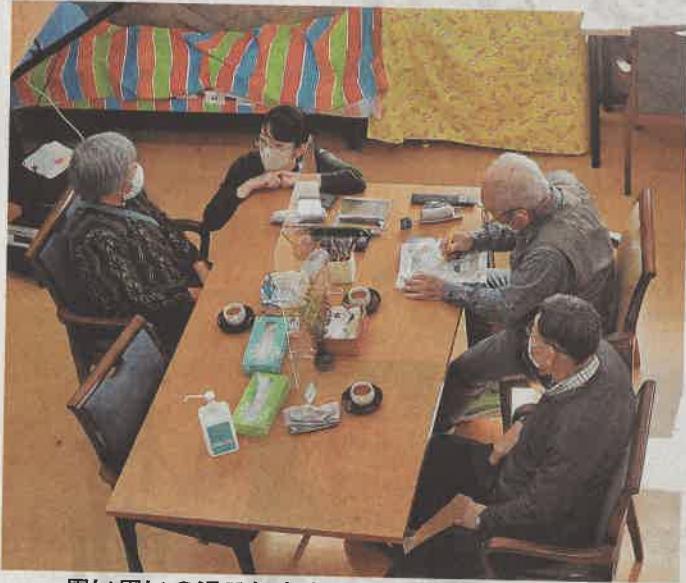


障害者と高齢者 共生

美濃市の介護施設、18歳以上受け入れ



思い思いの過ごし方をするデイサービス利用者
=美濃市大矢田、デイサービスにじむすび

美濃市大矢田の高齢者向け通所介護施設「デイサービスにじむすび」が今月から、18歳以上で障害のある人の受け入れも始めた。障害者と高齢者が一緒に利用できる「共生型デイサービス」は市内初で、受け皿の拡充や相互理解の促進が見込まれる。(神原あやな)

訪問看護・介護サービス会社にじむすび(同市)は、渡辺暁典社長が2016年に設立し、東京都や岐阜市で訪問介護サービスを運営。21年に大矢田にデイサービス施設を開き、一日に25人が利用する。

市内初 相互理解を深める

現在市内には障害者向けサービスを提供する施設は少なく、渡辺社長の「障害のある方が地元でサービスを受けやすくしたい」との思いをきっかけに、夏ごろから県に申請準備を進めた。施設の新設はハードルが高く、既存の施設で認可を得ることにした。5日時点で障害者の利用はないが、問い合わせはあるとう。

同施設は共生にも力を入れており、先月23日から、毎週土曜日に施設内で駄菓子屋を始め、地元の子どもたちでぎわっている。障害者の受け入れも、こうして共生への取り組みの一環で一緒に生活することで、互いの得意な部分を補い合い、相互理解を深める試みという。渡辺社長は「社会の中で普通に行われている共生がこの施設でも『できれば』と展望を語った。

問い合わせは同施設。電話0575(33)003

△第1部(男子の部)		△第67回可児駅伝出場チ	
△選手 ファンフレンズA	△選手 みたけdokies	△選手 東可児中陸上部1年	△選手 工場の田坂浩明工場長(左)と佐藤光宏町長(右)による感謝状贈呈式
△選手 古田敏男、浜田義典、斎木健太郎△監督 藤井裕史	△選手 清水宏保、秋松祐哉、丸茂敬介△監督 清水宏保	△選手 有賀方洋、稻川駿△監督 村上克	△選手 田坂浩明工場長(右)からマスクを寄贈される伊藤敬宏町長(左)
△選手 NGEの男たち	△選手 北の会	△選手 SEI-RYO	△選手 祝町役場
△選手 熊崎綾人、久保俊太、渡邊義富△監督 南谷裕一	△選手 渡邊雄一朗、瀧祐太、丸茂敬介△監督 奥村大△監督 渡邊雄一朗	△選手 TNT中学男子A	△選手 平井康浩、織羅童太
△選手 上田育生、久保寛太、渡邊義富△監督 柴田法昭	△選手 長島悠渡、小久保澄人、渡邊泰△監督 柴田法昭	△選手 田中佑誠、高橋風葵	△選手 三宅汰希、村瀬清治、長谷川雄人、村瀬悠貴△監督 川添孝一
△選手 桑原央雅、轟本結百、渡邊湊△監督 柴田法昭			